



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2023年(令和5年)7月25日発行 ◆Vol.69

故きを温ねて、新しきを知る 帯広葵学園のあしあと69

過去・現在・未来をつなぐ 一つの広告から

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

「学校法人帯広葵学園は、1964(昭和39)年4月に開園した葵幼稚園から始まります。」とは、様々な機会をとりえて話してきました。今年、2023(令和5)年です。59年が過ぎ60年に入ります。言うならば、今年度は、帯広葵学園60周年記念の年なのです。

ところで、その昔、帯広葵学園は源照学園と言いました。初代理事長は大高源照さんです。私たちの幼稚園は、帯広市東5条南8丁目にある大然寺から始まったのです。大高源照さんは大然寺の住職です。つまり、源照学園の「源照」は、初代理事長の名前から頂いています。また、この源照さん無くして今の学園は存在しなかったのです。そして、二代目理事長は阿部勝治さん、三代目が山田麟太郎さん、そして四代目が私となります。帯広葵学園で一緒に働く皆さんには、このような流れを踏まえて、今の学園があることを先ず知っていただきたいと思えます。

私は、「まちに人あり、人に歴史あり」という言葉を好んで使います。人の一生には限りがありますが、歴史には限りがありません。人はその限りある人生を繰り返しながら未来に歴史を刻んでいきます。その繰り返しの中で私たちは多くの出会いや経験を経験することになるのですが、そこには喜びの出会いや経験、そして、全くの真逆の苦しみや悩み、時には絶望の淵までも味わうこととなります。帯広葵学園の教育目標である『生きる力を身につける』ことの重要さを覚える瞬間だと思っております。

話が、妙な方向に飛んでしまいました。今私は、今一度帯広葵学園の歴史を振り返るため図書館で古い新聞を開くことに時間を割いています。その中で、添付した広告を見つけました。平成3年11月18日付け十勝毎日新聞の園児募集の広告です。私と学園との関りは平成4年からです。この時の私は当時の源照学園にとって全くの部外者でした。しかし、この広告を発見した時、その後実際に私が見たり、聞いたたりした源照学園、帯広葵学園のことが頭の中を走りだしたのです。そして、『帯広葵学園の過去と現在、それを未来につなげたい!』そう思ったのであります。

十勝毎日新聞(平成3年11月18日)

平成4年度 園児募集

源照学園 学校法人

葵幼稚園 帯広市西12条南17丁目3番地 TEL: 0155-23-7604

葵南幼稚園 帯広市南10条南1丁目 TEL: 0155-23-7604

葵西幼稚園 帯広市西12条南17丁目3番地 TEL: 0155-23-7604

園児募集の特色

- ・保育時間 登園9:00~9:30 降園14:00(木・土・日)
- ・完全給食(お・エ・おやつ)をしています。
- ・障害児の入園は積極的に受け入れています。
- ・延長保育制度を設けて、午後(両時)までお預かりしています。(月額5,000円)
- ・通園バスは市内全域を回っています。
- ・保育料/月額20,000円(1人1名代含む)

〈該当記事〉

十勝毎日新聞社

平成3年11月18日 発行



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022 帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F
TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778
URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>

帯広の森幼稚園 012おびもり つつじが丘幼稚園 012 青い鳥保育園

緑陽台認定こども園 柳町認定こども園 駒場認定こども園

あおいキッズランド Aoi 東土狩保育所・南中音更保育所・西中音更保育所 あおいとり